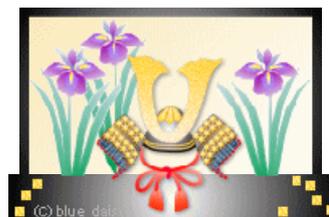


不二速報



発行日 2009年4月27日
第1号（09年度執行部紹介号）

09年度役員挨拶 皆様どうぞよろしく申し上げます。

○ 執行委員長 村山 功（教育学部）

委員長を務めることになった教育支部の村山です。1年間よろしく願います。

運営費交付金の継続的な削減により、労働条件や研究条件が悪化しています。組合からの要求が「財政的に無理」の一言で門前払いされないよう、情報の公開を求め、待遇改善につなげていきたいと考えています。

○ 副執行委員長 立岡 浩一（工学部）

工学部電気電子工学科立岡と申します。ひさしぶりに役をやらせていただき事になりました。宜しくお願いいたします。

○ 書記長 田中 伸司（人文学部）

人文学部の田中伸司です。平成7（1995）年に静岡大学に赴任してはじめての執行部入りです。

学部では社会学科人間学コースに所属しており、倫理学・古代ギリシア哲学を教えています。目標は高く掲げつつ、可能なことは這ってでも実現させていきたいと思っています。

○ 執行委員 桑島 道夫（人文学部）

組合の活動を非組合員の方々にも理解してもらえる環境作りの必要性をいまさらながら感じています。地道な足取りで輪を広げていけたら、と念じています。

○ 執行委員 小倉 将志郎（人文学部）

本年度執行委員を務めさせていただくことになった人文学部経済学科の小倉です。まだ赴任二年目で右も左もわからない状況です。執行委員としてお役にたてる自信はありませんが、1年間勉強させていただきながら、微力ながらご協力できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 執行委員 志民 一成（教育学部）

このたび執行委員を務めさせていただくことになりました志民一成と申します。教育学部で音楽教育を担当しております。専門は音楽教育学で、子どもの声の能力を引き出す教材の開発を行っています。

私にとって組合の活動は、これまでほとんど経験が無くわからないことばかりですが、微力ながら、少しでもお役に立つことができればと思っております。よろしくお願いいたします。

静岡大学教職員組合

静岡：
〒422-8529
静岡市駿河区大谷 836

TEL/FAX：
054(236)0173 (直)
2790 (内線)

E-mail
suu@jade.dti.ne.jp

浜松：
〒432-8561
浜松市中区城北三丁目
5-1

TEL/FAX：
053(475)9035 (直)
3910 (内線)

E-mail
suu-seibu@vcs.wbs.ne.jp

09年度役員紹介	1~2
非常勤職員アンケート概要報告	2~4
前委員長退任挨拶 組合からのお知らせ	4



後列左から：桑島、渋谷、志民、吉田寛、立岡
前列左から：小倉、村山、田中、吉田始

○ 執行委員 渋江 かさね（教育学部）

教育学部の渋江かさねと申します。

執行委員を務めさせていただくのは初めての経験でわからないことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じます。静岡大学の教職員のみなさまが、少しでも働きやすい環境になることに少しでも貢献できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 執行委員 吉田 始（工学部）

組合員歴は長いのですが執行委員は初めてで前任者のように能力もありませんのでご迷惑を掛けると思っています。最後のご奉公と思ひ微

力ながら働きやすい職場環境を目指し取り組みたいと思います。

○ 執行委員 吉田 寛（情報学部）

情報学部の吉田です。組合に入ってまだ3年ですが、このたび執行委員をやらせていただくことになりました。経験の浅い若輩者ですが、よろしくお願いいたします。

世間では、不況の影響でますます厳しい情勢となっています。気持ちを引き締めて努めさせていただきます。



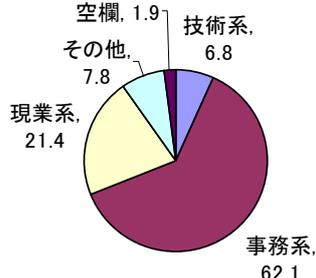
「パート職員の勤務実態に関する緊急アンケート」の概要報告

昨年度2月末に行いました標記アンケートにつきまして、その概要を報告いたします。自由記述の欄は団体交渉において経営側にも渡して一部は読み上げました。この報告では、各アンケート項目について見解は述べませんが、非常勤職員の方々が抱える問題は多様で、数多くあることが理解されました。今後の組合活動に活かしていきたいと思ひます。回答いただいた方々には、この場を借りてお礼申し上げます。

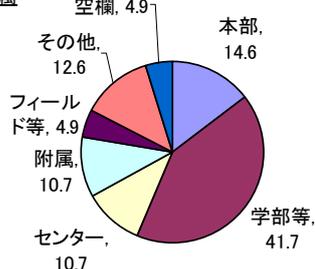
アンケート1：回答者の属性について

回答いただいた方々の人数は、東西両キャンパスで103名、半数以上に回答を寄せていただきました。その意味で、本アンケート結果は相当実態を反映したものであると考えてよいと思ひます。下のグラフには、回答いただいた方々の属性を示しました。

業務内容



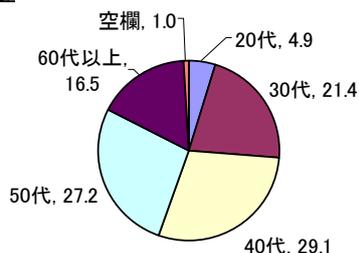
所属



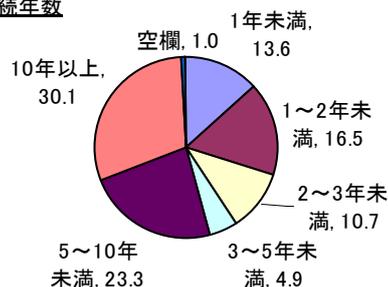
性別



年齢

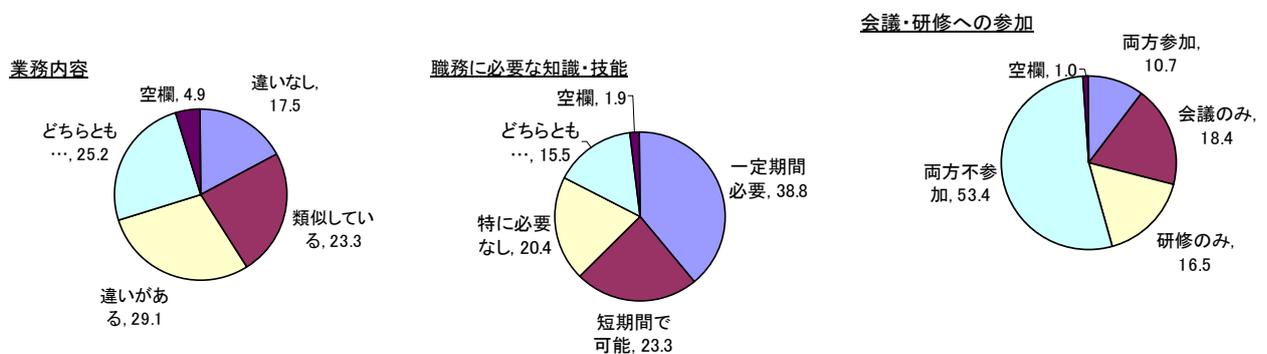


勤続年数



アンケート2：常勤職員との業務の違いについて

グラフを見ますと、常勤職員の方々との業務内容に違いが「ない」あるいは「類似している」と答えている人が40%を越えることが分かります。また「どちらとも言えない」と回答した方の中には、同様の業務を行っている常勤職員がおらず比較ができないという回答もありました。つまり実態としては40%をはるかに越えるパート職員の方が、常勤職員と近い形で業務を行っているかと推察されます。

アンケート4：会議や研修への参加

会議と研修の両方あるいはどちらかに参加している方は、約半数に上ります。これらは業務の遂行上必要であると認められているからだと考えられます。だとすると、定型的な業務に携わる非常勤職員という捉え方には無理があることを、この結果は示しています。

アンケート5：年間残業時間とサービス残業時間

アンケート5の結果の詳細は示しませんが、年間30時間以上残業を行っている方が、20%以上いました。また、残業手当が支払われないで行われた業務に年間30時間以上を費やしたと答えた方も、やはり2割弱いました。定められた時間内で業務をこなせないパート職員が、相当数いることをこのデータは示しています。

アンケート6：期末手当支給がないことに対する意見

勤務の実態を踏まえながら、期末手当支給を求める声が圧倒的多数の回答者から寄せられました。

「常勤職員と同じくらいの業務を行っているので、勤務年数に応じて支給されることを希望する」

アンケート3：採用後身につけた知識・技能・経験の必要性について

現在の業務に必要な知識や技能を身につけるのに、どの程度の期間が必要かを聞いた結果です。この結果は、上記のアンケート2の結果とよく対応しており、約4割の方が「一定期間必要である」と答えています。また、たとえ短期間であるにせよ、特定のスキルを身につけるのに時間がかかるという方が23.3%いることを見ても、新しいパート職員の方を採用すると、スキルを身につけるのに再度一定期間が必要となることをこのデータは示しています。

「以前と違い補助業務という体制ではなくなっています。そういう意味では、多少の勤勉手当を支給されることは妥当に思います。組織の中の一員である自覚と励みとなると思う」

「仕事について決してアルバイト感覚はなく、職員の一員として頑張っているつもりです。給与額に見合った期末手当があればよいと思います」

また、現状を仕方がないと受け止め、あきらめに近い気持ちを抱いている方も多く見られました。

「やはり気分的に落ち込みます」「ないことに慣れてしまいました」

「支給時期になると身分の違いを感じます。（中略）支払われることになったら、今以上に頑張れると思いますが、どこかもうあきらめてしまっているところがあります」

アンケート7：その他処遇に関する意見

期末手当支給の要求以外にも多くの意見が寄せられました。その中でも、やはり法人化後採用のパート職員さんからの3年雇い止めに関する意見が、圧倒的に多く見られました。

「ようやく身についた仕事を、また一から別の人
にというのは、効率の面でもコミュニケーション
の面でも(中略)問題だと思う」

「最長3年という枠は、やはりときにモチベーシ
ョンを下げる遠因になると思います」

「任期3年と限られているので、仕事を熟知した
ころ退職になる。常勤の職員の方から見れば、
教えた頃に退職していくので、また新しいパート
職員に最初から教えなければならないので
時間の無駄で、職場に積み重ねがないように
なると思う」

「せっかく覚えた仕事内容、慣れた職場をやめな
くてはならないのはなぜなのでしょう？大

学側にとっても新人さんを一から教えるのは
大変なことだと思いますが」

また、現状に対する悲痛な叫びとも取れる意見
も見られました。

「昇給もなく税金は増えていくため、生活は厳し
くなる一方です」

「昔の方が身分の差なくしていろいろな仕事を
させていただきました。現在は「パート」＝「下
っ端」に格差がはっきりしており、責任や大切
なことはぬかされ、ゴミ捨てはパートの仕事と
いう間柄です」

「非常勤職員など、はっきり言ってよい待遇など
ないと感じます。責任を負いかねる業務は多い
うえ、大企業が行っているまさしく“派遣使い
捨て”だと感じました。結局のところ、言っ
てもムダだろうとあきらめてここを去るしか
ないのですね」

前委員長退任挨拶 布川日佐史

昨年度、委員長という役について始めて気がついたり、考えさせられたことがありました。正規職員より、非正規のパートや派遣の人の方が多くなっているのにはびっくりしました。人を育てるのではなく、使い捨てにしている事業所に自分自身が身を置いていることを実感しました。悔しかったのは、サービス残業・休日出勤が著しい職場で一生懸命働き、体調を崩し、退職を決意した人を止めることができなかったことです。仕事の見直しや残業代の支払いについて組合として交渉をしてきましたが、残っても大丈夫と思える職場に変えることはできませんでした。

学長交渉で、お金がない、先が見えないという話や、残業や非常勤職員の職務内容などに問題があるのは部局のせいだというような話を何度か聞きましたが、学長、財務担当理事、学長補佐がいったい何をめざしているのかは結局のところわかりませんでした。人件費削減そのものを目指しているように感じました。逆に、組合や過半数代表の集まりなどで、各部局にいい仕事をしたいという強い気持と力を秘めた方々がいらっしゃることは、よくわかりました。

新執行部の皆さんが直面する課題は昨年より大きいかと思います。奮闘をお願いいたします。何らかのお手伝いはさせていただくつもりです。

組合からのお知らせ**◆5/1(金)第80回メーデー◆**

※お弁当と飲み物を用意します。
4月28日(火)12:00までに
書記局へ参加をご連絡ください。

◆益川敏英先生推薦**全大教編「大学破壊」◆**

組合員価格1,500円(税込)
で販売中です。

**★第1回団体交渉の
申し入れを行いました★**
5月中旬開催予定で
準備中です。

**★今年の定期大会は
6月25日(木)です★**
よろしく願いいたします。

**◆安全で美味しい新茶は
いかがですか!◆
無農薬新茶販売中!**

種類：緑茶・紅茶・ほうじ茶
価格：100g・500円～

※切 5月8日(金)

※ちらしまたはメールで
お申し込み下さい。